

月刊ウィーン GEKKAN-WIEN

現地オリジナル取材と編集で
ウィーンを伝える月刊情報紙

創刊 1989年 No.219

2007年9月号

Gustav Klimt Isabella d'Este, 1885 Kopie nach dem gleichnamigen Gemälde von Tizian aus dem Kunsthistorischen Museum, Wien Öl auf Leinwand Schloss Pelesch, Sinaia © Klimtarchiv

グスタフ・クリムト 『イザベラ一世』 美術史博物館（ウィーン）所蔵のティツィアンによる同名の絵画のコピー 一八八五年 ペレシユ宮（シナイア）所蔵

ベルヴェデーレ上宮における特別展『グスタフ・クリムトと芸術家仲間たち』にて十月二日まで展示



ウィーン大学が輩出した巨星たち

リーゼ・マイトナー Lise Meitner

リーゼ・マイトナー（一八七八―一九六八）は、ウィーン二区レオポルトシュタットに生まれた（*写真参照）。清藤で親切な人柄で知られる弁護士の父、小柄で黒い瞳の厳しい母を両親とする中流ユダヤ家庭に育った。少女時代から数学と物理が好きだったが、当時は女性の大学入学は許されず、教育の男女平等が成った一九〇一年、二十三歳でウィーン大学に入学する。九区テュルケンシュトラッセの物理学研究所でボルツマン教授に学び、〇六年、女性では二人目の博士号を取得し、放射能の研究に取り組む。

〇七年、理論物理学者マックス・プランクの講義を聴くためベルリン大学に行き、化学者のオットー・ハーンと出会い共同研究を始めた。マイトナーが物理学の測定をする一方、ハーンが得意な化学的分離を行うというコンビ、互いに相補的な役割を担っていた。一八年には九一番元素プロトアクチニウムを発見したが、論文筆頭者はほぼ全ての実験を担当したマイトナーではなくハーンに譲った。万事に控え目だった。マイトナーは着実に成果を上げ、ベルリン大学教授、カイザー・ヴィルヘルム化学研究所原子核物理部門長となった。しかし、三三年、ヒトラーが政権を取るとユダヤ人物理学者をドイツから追放し始める。ハーンは自分と研究所を守るため、マイトナーに研究所を去るように勧める。三八年、六十歳のマイトナーはスイス・グレンス二個だけを手にスウェーデンに逃れ、シーグバイン研究所に職を得るが、所長はユダヤ人・女性差別者で、実験装置や助手も与えられず迫害を受ける。マイトナーがベルリンを去った直後の三八年十二月、彼女が計画したウランに中性子を衝突させる実験でハーンらは予想外のバリウムを検出した。手紙で物理的解釈を求められたマイトナーは、核分裂が起きたことを直感し、それを確認するための助言を送り、ハーンはこれに基づき実験により検証した。マイトナーは甥の物理学者フリッシュとともに、核分裂のメカニズムを世界で初めて理論的に解明した。

ユダヤ人との共著論文はドイツでは危険な時代だったため、ハーンらが発表した論文にマイトナーの名はない。彼女とフリッシュの論文は、郵便事情で遅れ二週間後に発表された。ハーンは四四年にノーベル化学賞を単独受賞する。本来ならマイトナーも共同受賞するはずだったが、ユダヤ人を受賞者に推薦するのは微妙な終戦前の時期だった。受賞後のハーンは核分裂発見におけるマイトナーの寄与を消すことに精力を費やしたが、彼女は始終沈黙を守った。二人の共同研究の実態を知りながら口をつぐんでいた物理学者にも責があった。八二年、ドイツで一九九番元素が発見された際、マイトナーにちなんでマイトネリウムと命名された。世代を超えて物理学の良心が残されたのだろう。七二年、筆者はマイトナーが証明したクライン・仁科の式関連の卒業実験をしていたが、不覚にも彼女の名前は知らなかった。

少女時代にピアノを習ったマイトナーは、生涯を通じて音楽を愛好した。学生時代はボルツマン家で先生の見事なピアノを聴き、プランク家では、アインシュタインのヴァイオリンに聴き惚れた。短期間共同研究をしたアインシュタインからは「我がマリィ・キュリー」と呼ばれた。戦時中、核分裂を利用する原子爆弾開発への参画にはマイトナーは頑として拒否した。戦後、米国で核分裂発見者として有名になり、四六年の年間最優秀女性に選ばれた。六三年、ウィーンのウラニア（*写真参照）で行われた講演は聴衆を魅了し、降壇した八十五歳の小柄な彼女の周りにはたちまち人だかりとなった。七三年、国際原子力機関のある二二区に科学技術高校が新設される際、隣接する小径がマイトナー通りと名付けられた（*写真参照）。

音楽と芸術の都ウィーンには、今日の世界のエネルギーを支える原子力の原点である核分裂の発見に貢献したリーゼ・マイトナーの面影が残されている。ウィーンと音楽を愛し、人間愛を失わず、嵐の時代を生き抜いた女性科学者に思いを致しては如何。

●参考文献

『リーゼ・マイトナー 嵐の時代を生き抜いた女性科学者』 R.T.サイム 米沢富美子監修

■杉本純（日本原子力研究開発機構 原子力研修センター長 前ウィーン事務所長）

マイトナーが講義したウラニア（1区）



(左) 22区にあるマイトナー通り



(下) 2区にあるマイトナーの生家と銘板



『みゆう』 毎日催行・現地発ツアー&チケット手配
 ウィーン市内観光・ウィーンの森半日観光 他 (要予約)
 『みゆう』インフォメーション・センター
 TEL: (01)513 9588 (日本語)
 土日祝日を除く毎日8:30-11:00
 (12月25日と1月1日は休業)
 OPERNRING 4 (Elite Tours内) 国立オペラ座横
 MIKI TRAVEL VIENNA 月一金 (9:00~11:30)
 TEL: (01)310 2288-18
 myu@mikivie.at www.myushop.net

My bus 日本語定期観光バス
 美しい自然と文化遺産の数々を
 日本語ガイドが親切に説明致します。

ウィーン市内半日観光 毎日 9時出発
 ウィーンの森半日観光 毎日 14時出発
 バッハウ渓谷1日観光 火・木・日 9時半出発
 ウィーンナイトツアー 毎日 19時15分出発
 鉄道の旅ザルツブルク市内観光 毎日 8時22分出発
 鉄道の旅ザルツタンマーマーグート観光 毎日 8時22分出発
 ウォーキング美術史博物館 火・木・土 14時15分出発
 ミュージックウォーキングツアー 水・金・日 14時15分出発

ご予約 (日本語) TEL 01-7160947
 マイバス・センター Net Travel Service Austria GmbH
 Operngasse 6/2 A-1010 Wien
 月~金: 09:00-17:30 tel.01-7160947
 土日祭日: 09:00-17:30 tel.0664-4032882
 (マイバスのみ 英語)

ネットトラベルサービスでは
 コンサートチケットや列車の
 手配もしております。
 H.P.をご参照下さい。
<http://www.enjoyaustria.net>

HIS ウィーン支店
 航空券・ホテル・コンサートチケット
 TEL: 01 587-1073
 e-mail: vienna@his-austria.at
 営業時間: 月~金 09:00~17:30 www.his-austria.at